

授業科目名	仏法 I	選択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	総論－フランス法制史・統治機構	担当者	西連寺 隆行			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>本講義では、フランス法制度の歴史的発展経緯および現行制度を概説する。まず法制史を概観し、現代フランス法に至る過程を確認する。次に、国家体制の基本構造である統治機構（大統領・政府・国会）を学んでいく。さらに、裁判制度（司法裁判所・行政裁判所・憲法院等）について紹介、最後に行政組織・対外関係をみていく予定である。</p> <p>【到達目標】</p> <p>フランス法の基礎知識を修得し、その特徴を的確に説明できるようになることを目標とする。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】 特に指定しない</p> <p>【参考書】 滝澤正『フランス法〔第4版〕』（2010年、三省堂）</p>					
授業回数	内容					
1	序論					
2	フランス法制史（1）					
3	フランス法制史（2）					
4	フランス法制史（3）					
5	フランス法制史（4）					
6	統治機構（1）					
7	統治機構（2）					
8	統治機構（3）					
9	統治機構（4）					
10	統治機構（5）					
11	裁判制度（1）					
12	裁判制度（2）					
13	裁判制度（3）					
14	裁判制度（4）					
15	行政組織・対外関係					
評価方法	小テスト・定期試験により評価する。					
評価基準	上記授業単元の内容について、これをよく理解し、簡潔かつ論理的に説明できた者については「A」とし、その表現に不適切な点がある、または重要事項の記述に一部欠けるところがある者についてはその程度に応じて「B」または「C」とする。単元の内容についての理解自体が不十分な者についてはその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	フランス憲法の収録された憲法集を持参すること。初回または2回目の講義に必ず出席し、成績評価方法を確認した上で受講すること。					